



【多言語ワークショップ】

異文化コミュニケーションの現在地 —バフチンの〈対話〉を手掛かりに

日時 2024年3月29日（金）13:00～17:00

場所 神戸大学人文学研究科 A棟1階A119（学生ホール）

プログラム

イントロダクション 「ポスト単一言語主義時代」における異文化コミュニケーションの複雑さと豊かさ

トーマス・ブルック（追手門学院大学）

第一部 バフチンとの対話を通して再考する「異文化コミュニケーション」

トーマス・ブルック（追手門学院大学）

奥堀 亜紀子（東北てつがく研究所）

尾田 知子（大阪工業大学）

第二部 バフチンの〈対話〉の今日的意義

李 博聞（京都大学博士後期課程）

古宮 路子（東京大学）

第三部 全体ディスカッション

望月 哲男（北海道大学名誉教授）

ヴァレリー・グレチュコ（東京大学）

亀田 真澄（中京大学）

閉会の辞

共催：他者をめぐる人文学研究会

科研 挑戦的研究（萌芽）「ポスト単一言語主義時代の中東欧文学における多言語性」（22K18469, 代表者 増本浩子）

科研費
KAKENHI

